



希望対話

21世紀を生きる君たちへ

4日

私は信じている。使命ある諸君が、
何があろうと負けるわけがない、と。
君たちは「勝つために生まれてきた」
のだから！ (89ページ)

1日

一年だけの友情もある。一生続く友情も
ある。あせることはない。今、友達がいな
い人は「いつか素晴らしい友達ができるか
ら、今いないんだ」と思って、自分を立派
につくっていけばいい。

(39ページ)

5日

「忙しいから無理だ」とあきらめたら負け
です。「忙しいからこそ集中してやろう」
と決めたら力が出る。私も、いつも「一日
を一週間分、十日分に使おう」という決心
で生きてきました。 (134ページ)

2日

二つの生き方しかない。「環境のせい」
「人のせい」にして結局、敗北する人。
歯をくいしばって環境に打ち勝つ人。
どちらを選ぶかは、自分で決めることです。

(84ページ)

6日

「何を読もうか」と迷っている間に一ペー
ジでも読むことだ。まず「いつも本を手ば
なさない」くせをつけよう。

(168ページ)

3日

とにかく「なにか始める」ことだ。
やりやすい所から始めることだ。「三日坊
主」でもいい。「三日坊主」でも「十回」
やれば「一カ月」やったことになる。

(76ページ)

7日

「自分らしさ」とは自分もっている力を
ぎりぎりまで、しぼり出した時、輝き始め
る。そういう「個性を鍛えた人」は他人を
妬まない。 (187ページ)

8日

「受け身」になったら、どんな自由な世界であっても「不自由」な自分になる。逆に「攻め」の姿勢になれば、どんな不自由な環境であっても「自由」を味わえる。

(120ページ)

12日

一番大事なことは、どんな場合でも「自分なんか、だめだ」と思わないこと。自分をいじめないこと！自分で自分を励ますんだよ。落ち込んでしまった自分の心を、自分で「よいしょ」と持ち上げるんだよ。だって、君は素晴らしい人なんだから。(293ページ)

9日

人生の道は厳しい。それを歩むのは「自分」です。戦うのは「自分」です。勝利しなければならぬのは「自分自身」です。

(147ページ)

13日

「自分は、これを、やるんだ！」と、自分で決めて、それを、やり通してみることです。そうすれば、「自分は、やり切ったんだ」という自信ができる。(129ページ)

10日

本は知識をくれる。本は感動をくれる。本は勇気をくれる。本は思いやりをくれる。本を読む習慣さえ身につけておけば、その人の道に「希望」が消えることはないんです。

(160ページ)

14日

相手に「学ぼう」という心は、「暴力」と反対です。そこから、人間らしい交流が生まれてくるんです。

(106ページ)

11日

努力、努力で個性を存分に鍛え上げた人は、他の人の個性の開花を喜ぶものです。応援するものです。人の成功が、うれしいものです。人のために、尽くせるものです。

(188ページ)

15日

御本尊は「鏡」です。自分の心が映る鏡です。だから「御本尊を大切にすることは、御本尊から大切にされる」——これを覚えてください。これひとつを覚えていれば、人生は盤石です。(320ページ)



16日

粘り強く勉強したり、いやな人にも笑顔で接したり、朝、頑張って起きたり、そういう日常生活の中で、「人間として正しい」道を歩み抜いていく勇気が大切なのです。

(356ページ)



20日

「正しいんだから、やる」——これが勇気です。「勇気」は「正義」と一体なのです。

(355ページ)



17日

どんな性格であろうと、自分らしく、「誠実に生きていこう！」と決めて頑張っていけばいいんです。その誠実さという「心の炎」が、自分の性格を、良い方向へ、良い方向へと、光らせてくれるんです。

(371ページ)



21日

信心は一生涯のものです。あせることはない。青春時代に「生涯、信心をつらぬく」土台を築けばいいのです。

(321ページ)



18日

どんな人の中にも「仏界」—「仏の生命」がある。それは燃えたぎる太陽のような「勇気のかたまり」です。だから、勇気が「ない」のではない。あるんだが「出さない」だけです。

(363ページ)



22日

どんな悩みがあっても、君は負けるな！
どんな障害があっても、夢をあきらめるな！
自分のなかの「太陽」を輝かせて生き抜こう！

(402ページ)



19日

みんなが、「堂々と正義を主張できる人」に育った分だけ、平和は来る。平和は、だれかから「与えられる」ものではない。平和は、自分たちで「創る」ものです。

(348ページ)



23日

この広大な宇宙の中で、みんなは、こうして地球を選んで、しかも、この「瞬間」ともいうべき今、いっしょに生まれてきた
(中略)自分のかけがえのない一生を、むだにしてはいけない。

(399ページ)

24日

「夢こそ力」です。「希望こそ力」です。
人間は「絶対に、これだけはやりとげるんだ」と固く固く決意したら、大ていのことはできるものなんです。(454ページ)

28日

(信仰とは、)挑戦すべき「山」をつくり、「山」を乗り越え、また次の「山」をつかって乗り越えていく。乗り越えるたびに、もっと強く、もっと大きな自分へと人間革命していく。(467ページ)

25日

私は、みんなに「かぎりなく温かい人」になってもらいたい。凍りついた心さえ、君に会うと、安心してほぐれていく。そんな「かぎりなく大きな人」になってもらいたい。(236ページ)

29日

信心の力、題目の力は無限です。
人間が、誰でももっている「希望の力」を無限大に拡大し、増幅する力が、題目にはあるのです。(467ページ)

26日

今の自分にできることは、小さなことかもしれない。その小ささを恥じて、手を引っこめてはいけない。「今、自分にできること」をやった人が偉いのです。(268ページ)

30日

世界のどこかで、君が来てくれるのを、ひたすら待っている人がいる。必ずいる。君でなければできない使命が、必ずある。(253ページ)

27日

学校の成績には序列がある。順番がある。しかし、生命に序列はつけられない。順番はつけられない。だれもが「一番」なのです。全員が「最高」です。(448ページ)

31日

苦難を一つ一つ乗り越えるたびに、私は強くなりました。悩みとの戦いが、何も恐れない、何ものにも負けない、富士の山のごとき生命へと鍛えてくれました。今は、すべての苦勞に感謝しています。(4ページ)